

がんゲノム医療 最新情報を紹介

木沢記念病院

木沢記念病院(美濃加茂市古井町)は2日、「健康フェスティバル」を可児市下恵土の市文化創造センター・アールで開いた。副院長の石原哲が「がんゲノム診断・診療センター長が特別講演し、遺伝子パネル検査の保険適用が決まった「がんゲノム医療」について最新情報を紹介した。

がんゲノム医療は遺伝子を調べ、最適な薬を選ぶ最先端のがん医療。昨年4月に連携病院の指定を受けた

木沢記念病院は、これに先駆けて一昨年11月にがんゲノム医療の検査を開始するなど、この分野のフロントランナーとなっている。

石原副院長は講演で、がんは遺伝子の変異の積み重ねとし、「遺伝子異常を検出して、抗がん剤を投与する時代が来ている」と述べた。

同病院の医師9人も講演し、専門的な立場から最新の治療法などを伝えた。会場には口腔がん検診や、血流や骨密度測定コーナーなどが設けられ、大勢の市民らが体験した。

健康フェスティバルは市民らの健康増進や最新医療の紹介を目的に毎年開催している。
(山田孝二)



講演する石原哲副院長。可児市下恵土、市文化創造センター・アール